

平成29年度 東北地理学会一般公開シンポジウム

津波災害を如何に伝えるか —地元から後世および他地域に—

開会挨拶 村山 良之 (東北地理学会会長)

趣旨説明 岩船 昌起 (鹿児島大学)

研究報告 <15:10 ~ 16:45>

1. 東日本沿岸における過去の津波災害の記録
—その整理と地理空間情報の抽出—
鈴木比奈子 (防災科学技術研究所)
2. 明治以降の大津波災害とその記録の残し方
—山田町を事例に—
田村俊和 (東北大学・名誉教授)
3. 山田町の東日本大震災記録誌—その編集テーマと制作過程
佐藤孝雄 (山田町総務課)
4. 避難行動と避難生活を如何に伝えるか—山田町「震災記録誌」のねらい
岩船昌起 (鹿児島大学)
5. 避難所・避難生活者の動きを記録する
阿部 隆 (東北大学・院)
6. 人間行動の基盤としての土地条件を地形学的視点で記録する
瀬戸真之 (福島大学)
7. 避難者の思いや行動を避難環境と結ぶ
—地図・現場での証言の時空間的検証—
岩船昌起 (鹿児島大学)

総合討論 <16:50 ~ 17:25>

コメント 震災による買い物環境の変化の記録
—フードデザート研究の視点から—
駒木伸比古 (愛知大学)ほか

総括・閉会挨拶 田村俊和 (東北大学・名誉教授)



2011年3月30日撮影
山田町山田地区



宮古市立図書館所蔵

「復刻版明治29年『風俗画報』臨時増刊大海嘯被害録」より

日時 平成29年10月28日(土) 15:00~17:30

参加費無料

会場 岩手県民会館 第一会議室 (〒020-0024 盛岡市内丸13番1号)

お問合せ

岩手県立大学 総合政策学部 吉木研究室 〒020-0693 岩手県滝沢市巢子152-52
E-mail y-takeya@iwate-pu.ac.jp TEL: 019-694-2736 FAX: 019-694-2701

主催 東北地理学会 共催 日本地理学会被災地再建研究グループ
後援 岩手県山田町、岩手県立大学、NHK盛岡放送局、岩手日報社